

登録コード	F3A53230	開講年度	2026			
授業科目	リサーチプロジェクト				担当教員	田中 稔久 他
英文授業名	Research Project				副担当	
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限		
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目
					備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 4 Fカリ・先進感性					
	【2023年度以降カリキュラム対象】モノづくりの基本である「工学的アプローチ」能力および自然科学、人文科学、社会科学を横断的に取り込める能力				希望する研究室の教員のもとで、先進繊維・感性工学工学に関する具体的な研究トピックに取り組み、講義で学んだ知識を活用し、文献収集、実験、解析、論文作成、発表など、研究の基本力の涵養をねらいとする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	担当教員の指導の下に、研究背景について文献調査し理解する。文献調査に基づく研究テーマの設定と研究計画を作成する。					
(5)授業計画	担当教員の指導の下に、先進繊維工学・感性工学に関する研究トピックを設定し、以下の3項目に取り組む。 (1) 文献調査に基づく研究計画の作成 (2) 論文や発表資料、または成果物の作成 (3) 活動状況によるが、実験または創造的活動の実践 なお、活動時間の目安は、週2時間（または1時限）とし、計画的かつ主体的に取り組むこと。					
(6)成績評価の方法	担当教員は以下の3項目を評価する。 (1)「授業計画」の項に記載の活動に対する成果物（活動状況報告書、研究計画書・成果報告書） (2)成果物の内容についての議論 (3)活動に取り組む姿勢					
(7)成績評価の基準	「成績評価の方法」の項に記載の内容について100点満点で評価する。 秀：90点以上（授業の達成目標の水準から見て卓越している） 優：80-89点（授業の達成目標の水準よりかなり上にある） 良：70-79点（授業の達成目標の水準よりやや上にある） 可：60-69点（授業の達成目標の水準にある） 不可（D）：50-59点（授業の達成目標の水準よりやや下にある） 不可（F）：49点以下（授業の達成目標の水準にない）					
(8)事前事後学習の内容	本講義を調査、計画する過程で、過去に履修した講義で習得した知識や学生実験・実習等で習得した技能をよく復習すること。					
(9)履修上の注意	本講義の履修を希望する場合は、3年次前期の成績確定～後期の講義開始日の期間中に学科学務委員（R8年度は金屋先生）に申し出ること。 条件(1)の学習条件を満たすこと。また運用上の制約から条件(2)を承諾すること。 (1) 3年次前期までに履修すべき全必修科目の単位を修得していること (2) 担当教員1名の受入人数上限は1名以内とする					
(10)質問,相談への対応						
(11)学生へのメッセージ						
(12)その他	4年次の研究室配属は、リサーチプロジェクトの受講の有無に関係なく、配属希望と成績を基準に決定する。					
【教科書】	指定しない。					
【参考書】	指定しない。					